

# 『トトロの泥になったよ』 3歳児 6月 伏見こども園

水はこれくらい…



## エピソード

水が入ったタライをひっくり返して保育者や友達が泥を触って遊んでいると、そばで様子を見ていた A 児が手桶で地面の泥をすくい始めました。そこに水を入れ、手桶をゆすると、真剣なまなざしで中の泥を見つめながら泥が手桶に残るギリギリで手首を返し、水だけを流しました。その工程を何度も繰り返してできた泥を、見守っていた保育者に嬉しそうに見せてくれました。「一生懸命していたね」と声を掛けると「トトロになった」と、上澄みの水を流して出来上がった泥の様子を笑顔で保育者に伝えました。水を入れては流すことを繰り返す中でトトロの泥になったことを感じる姿がみられました。

## 保育者の思い

- ・安心できる保育者が近くにいることで自分が興味をもったことを十分に楽しんでほしいと思いました。
- ・泥をすくう、水を入れる、水を流すことを何度も繰り返している姿に A 児のどんな思いが込められているのかを知りたくて、そっと見守りました。
- ・したいことを何度も繰り返し楽しむ A 児の姿を認めることで、夢中になって遊ぶ面白さを感じてほしいと思いました。

## 子どもの育ちや学び

- ・水と土を混ぜると泥になることに気付いています。
- ・泥に興味をもち、自分から関わろうとしています。
- ・水と泥を同じ入れ物に入れると、水から流れて、泥が残ることを感覚的に感じ取っています。
- ・泥に水を入れたり流したりすることを繰り返すことで泥が変化することを感じています。
- ・繰り返して遊ぶことの楽しさを感じています。
- ・嬉しいことを保育者に表情や言葉で伝えています。

## 家庭だったら…

子ども達の行動に「どんな思いが込められているのかな？」と子どもなりの思いを聞いてみてください。可愛らしくて面白い子どもの考えを教えてくださいと思います。